

静岡新聞

令和元年 (2019年) 7月14日

御殿場、小山 飲酒運転撲滅呼び掛け

御殿場市と小山町の運転代行業者でつくる「御殿場運転代行業組合」は夏の交通安全県民運動(20日まで)に合わせて、飲酒運転撲滅を目指した街頭広報活動を展開している。

運動期間中の夕方、「飲酒運転撲滅」との看板を掲げたキャラバンカー＝写真＝で両市町を



走行。車に取り付けたスピーカーで「飲酒運転は重大な犯罪。絶対にやめましょう」などと呼び掛ける。

岳麓新聞

令和元年 (2019年) 7月14日

運転代行業組合 飲酒運転抑止 御殿場署

御殿場運転代行業組合(高瀬明宏代表)は12日午後、御殿場署で飲酒運転撲滅を呼びかける啓発車両の御殿場、小山両市町での運行実施を報告した。写真。

事業は、住民に飲酒運転が犯罪という認識を持ってもらい、飲酒運転の根絶を図ることが目的。令和元年度夏の交通安全県民運動に併せ、20日まで運行する。

啓発車両は、白色のワンボックス型の軽自動車。屋根に「飲酒運転撲滅」などの看板を取り付け、側面にSD D全国書道コンクール入賞作品「飲酒運転楽しいお酒がだいなしに」など4作品のステッカーが貼られている。運行中はスピー

カーで「飲酒運転は身の破滅と人の幸せを奪い、人生に重荷を背負う重大な犯罪」などと呼びかける。高瀬代表は「飲酒運



転の撲滅と重大事故による交通遺児をなくしたい。やらなくていい運転で、遺児をつくる必要はない。御殿場、小山両市町の取り組みは全国的にも注目されているので、飲酒運転をゼロにしたい。飲んだら乗るなを意識してほしい」と話した。